



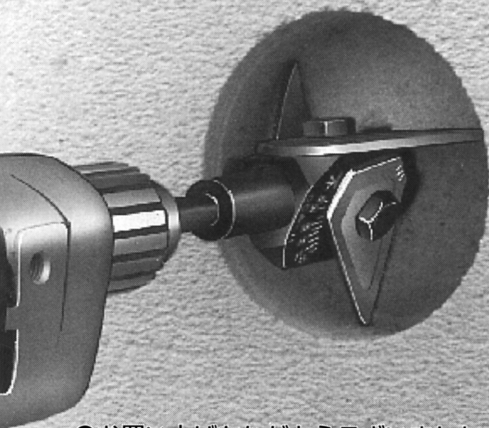
プロ用

ALC穴あけ用ビット

フリーオーガー (CCA-60 / 140)

取扱説明書

※CCA-60・CCA-140兼用の取扱説明書となっております。CCA-60の場合は使用説明図と商品形状が異なります。



安全上のご注意

1～4ページ

各部の名称・仕様
切削対象材

5ページ

適用電動ドリル
別売品

6ページ

使用方法

7～10ページ

お手入れ・保管

11ページ

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をすべてよくお読みのうえ正しくご使用ください。
- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

保管用

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用ください。
- 注意事項は「⚠ 警告」・「⚠ 注意」に区分しています。

 警告	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意です。
 注意	誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意です。

なお「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

警告

- 作業場は安定した足場を確保してください。
- 高所作業は作業者、工具等の落下防止対策を行ってください。
- 作業中は周辺および貫通側に人を近づけないでください。
- フリーオーガーはALC(軽量気泡コンクリート)の穴あけ専用ビットです。
 - ・コンクリート等指定外の材料に使用しないでください。
- 穴あけは、電線管、水道管、ガス管等がない場所を選んでください。
- 金属探知器等でALCの配筋状態を調べ、鉄筋や釘、ビス等の埋設物がない場所を選び穴あけを行ってください。
 - ・鉄筋(ALC内の配筋)・ラス網は切れません。
 - ・ALC加工は規準に従い適切な方法で行ってください。
- 電動ドリルは必ず両手ハンドル(補助ハンドル付)で、しっかり保持できるものをご使用ください。
 - ・切削抵抗により振り回される恐れがあります。特に急な切削は強い衝撃を受けたいへん危険です。
- 電動ドリルは、電動ドリルの取扱説明書の指示に従い、正しくご使用ください。
- 電動ドリルへのフリーオーガーの取付けは、正しく、確実に行ってください。
- フリーオーガーの取付け、取外しは、必ず電動ドリルのスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜き行ってください。

警告

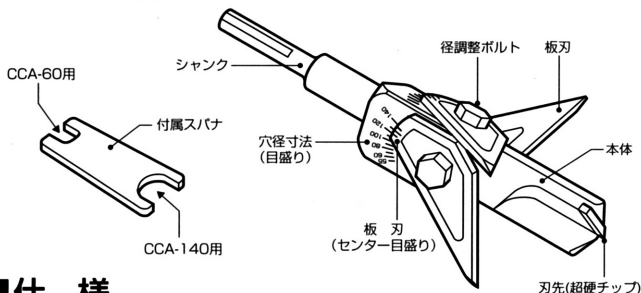
- 穴径の調整、板刃の交換、掃除を行う場合は、フリーオーガーを電動ドリルから取外し行ってください。
- 切削毎に本体、板刃に破損やゆるみがないか点検してください。
 - 破損があったら板刃などを交換してください。
 - 板刃にゆるみがあったら確実に固定してください。
- 板刃の径調整ボルトには、注油しないでください。
 - 切削中に板刃がゆるむ恐れがあります。
- 作業時は保護メガネ、防塵マスク、安全靴など安全な服装を着用してください。
 - 風の強い場合は、切粉の飛散が拡大しますので作業しないでください。
- 使用中は軍手など、巻き込まれる恐れがあるものを着用しないでください。
- 使用中は回転部に手や顔などを近づけないでください。
- 貫通時は反対側に急に抜け落ち、バランスを崩す恐れがあります。穴の抜け際には押す力をゆるめてください。
- 穴あけを中止する場合および貫通後は、必ず電動ドリルのスイッチを切り、電動ドリルの回転が止まってから工具、ドリルを穴から抜いてください。
- 一度あけた貫通穴には、再度より大きな穴をあけ直さないでください。

⚠ 注意

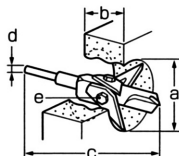
- フリーオーガーは正回転(時計回り)でご使用ください。
 - 逆回転では切削できません。
 - 振動ドリルには使用できません。
- フリーオーガーは5ページに記載の仕様範囲内でご使用ください。
- 脱着、穴径の調整、板刃の交換、掃除を行う場合(穴あけ作業時以外)は、保護手袋等をご使用ください。
- 穴径の調整は、板刃3枚を同じ目盛りにセットし、径調整ボルトを付属スパナで確実に締め付けてください。
 - 穴あけは本体に表示の目盛りの範囲でご使用ください。
- 電動ドリルがロックするような無理な力をかけて切削しないでください。
- 穴あけ直後は刃先や板刃が高温になっていますので、触れないでください。
- 回転させたまま、台や床などに置かないでください。
- 使用後はブラシ等で、付着した切粉を取り除いてください。
- 保管はフリーオーガーのシャンク側を下にして、専用ケースに入れてください。
- 子供の手が届かない、落下しない場所に保管してください。

各部の名称・仕様・切削対象材

■各部の名称



■仕様



●推奨回転数(1,100R.P.M)

(単位: mm)

品番	穿孔径	穿孔深さ	全長	シャンク径	径調整ボルト	重量(g)
	a	b	c	d	e	
CCA-60	φ30~60	~120	204	10	M6×7.5L	315
CCA-140	φ55~140	~150	244	12	M10×15L	1,375

※穿孔径(板刃の径調整)は本体に表示の目盛りの範囲で調整してください。
 ※本体表示の穴径目盛りは目安寸法です。スケール等で確認してください。

■切削対象材

●ALC(軽量気泡コンクリート)専用

ALC内に埋め込まれている配筋(鉄筋)・ラス網は切れません。
 (ラス網入りの場合は10ページに記載の使用方法に従って)
 穴あけを行ってください。

- 穴あけは配筋(鉄筋)の無い場所に行ってください。
- コンクリート等指定外の材料には使用できません。
- ALC加工は規準に従い適切な方法で行ってください。

適用電動ドリル・別売品

■適用電動ドリル

下記に示す事項がすべて適合する電動ドリルをご使用ください。

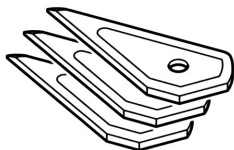
- 両手ハンドル(補助ハンドル付)でしっかり保持できるもの。
- フリーオーガーのシャンクが確実に保持、固定できるもの。
- 正回転(時計回り)で使用できるもの。

※推奨回転数(1,100 R.P.M)

※振動ドリルには使用できません。

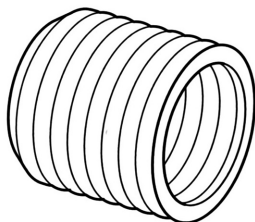
■別売品

●板刃(3枚組)



品 番	適 用
CCA-60F	CCA-60専用
CCA-140F	CCA-140専用

●切粉カップ



品 番	適 用
CCA-C	CCA-60・CCA-140共用

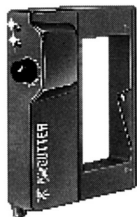
※フリーオーガーにはめ込むことにより、切削時に生じる切粉の飛び散りを低減することができます。

使用方法 (ご使用前に)

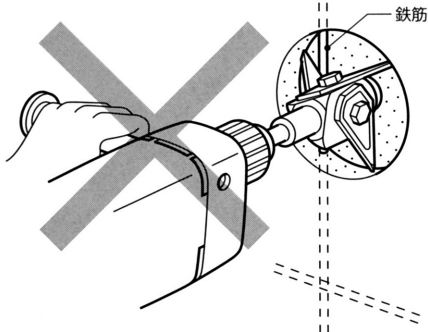
■ALCの配筋状態を調べる

ALCの穴あけ場所は、金属探知器等でALC内の配筋状態を調べ鉄筋が無い場所を、又、電線管、ガス管、水道管や釘、ビス等の埋設物が無い場所を選んでください。

ミライの金属探知器
ボックスアッター



鉄筋は切れません



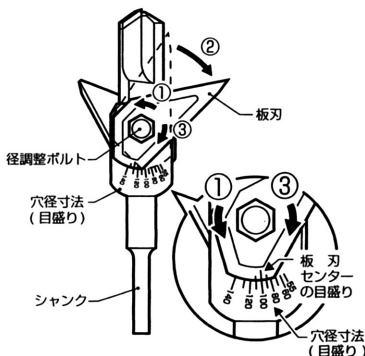
穴あけは、鉄筋等の埋設物が無い場所を選んでください。

使用方法 (板刃の目盛り合わせ)

1. 穴径を調整する

- (1) 付属スパナで径調整ボルトをゆるめる。
- (2) 板刃センターの目盛りを本体に表示の摘要穴径寸法(目盛り)に合わせる。
- (3) 板刃を押さえ、付属スパナで径調整ボルトを確実に締め付ける。
- (4) 板刃3枚を上記(1)～(3)の手順で同じ穴径(目盛り)に合わせる。

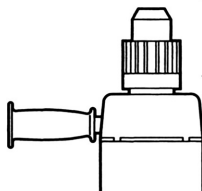
穴あけ寸法は本体に表示の摘要穴径寸法(目盛り)の範囲内でご使用ください。



2. 電動ドリルへ取付ける

- (1) フリーオーガーのシャンクを電動ドリルチャック部の奥まで差し込み、確実に締め付ける。

電動ドリルは、電動ドリルの取扱説明書の指示に従い正しくご使用ください。



フリーオーガーに表示の穴径寸法(目盛り)は目安です。穴あけ時にスケール等で確認してください。

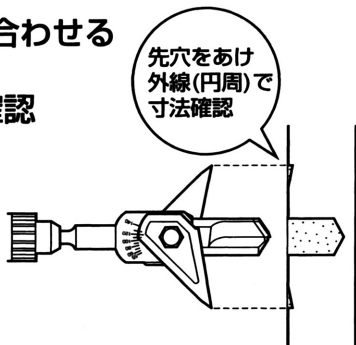
正回転に合わせる

使用方法 (穴あけ)

1. 刃先をセンターに合わせる

2. 先穴をあけ、寸法確認

- (1) 電動ドリルをしっかりと保持しスイッチを入れ、ALCに軽く押しつけながら先穴をあける。
- (2) 板刃で外線(円周)が削れる程度で、穴あけ作業を一時止める。
- (3) スケール等で寸法を確認する。



3. 穴をあける

- (1) 電動ドリルを適度な力でALCに押しつけながら、穴あけをする。

貫通時は反対側に急に抜け落ちバランスを崩す恐れがあります。穴の抜け際には押す力をゆるめてください。

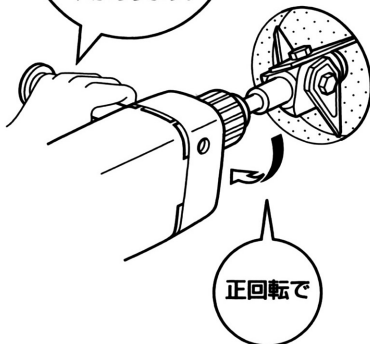
両手でしっかりと保持する。

※切削抵抗により振り回される恐れがあります。

穴の抜け際は力をゆるめる

4. スイッチを切る

- (1) 貫通穴があいたら、電動ドリルのスイッチを切る。
- (2) 回転が完全に止まってからフリーオーガー、電動ドリルを貫通穴から抜く。



使用方法 (ラス網入りALCの穴あけ)

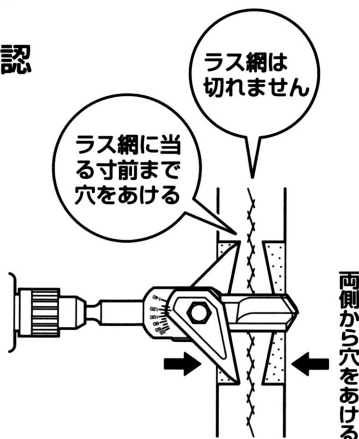
1. 刃先をセンターに合わせる

2. 先穴をあけ、寸法確認

- (1) 電動ドリルをしっかりと保持しスイッチを入れ、ALCに軽く押しつけながら先穴をあける。
- (2) 板刃で外線(円周)が削れる程度で、穴あけ作業を一時止める。
- (3) スケール等で寸法を確認する。

3. 穴をあける

- (1) 電動ドリルを軽く押しつけながら、ラス網に当たらないよう少しずつ穴をあける。
- (2) 板刃がラス網に当たる寸前で穴あけを止める。

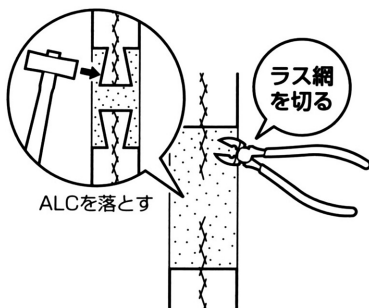


4. 反対側から穴をあける

- (1) 反対側から上記3の(1)(2)の手順を繰り返す。

5. ラス網を切る

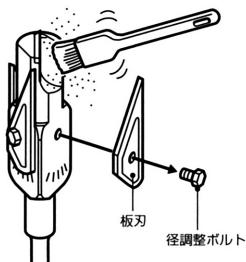
- (1) ラス網に残っているALCをカナヅチ等で落とす。
- (2) ラス網をニッパー等で切る。



お手入れ・保管

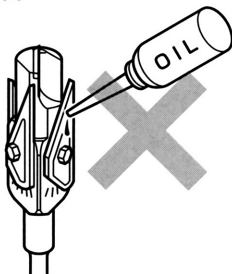
切粉を取り除く

板刃を取り外し、付着した切粉を取り除いてください。



注油しないで

※切削中に板刃がゆるむ恐れがあります。

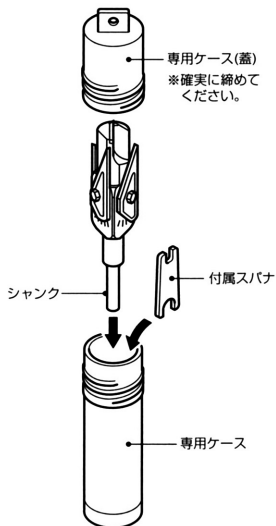


保管はケースに入れて

●フリーオーガーのシャンク側を下にし、専用ケースに入れ保管してください。

※刃先を下にすると破損する恐れがあります。

●子供の手が届かない、落下しない場所に保管してください。



●ご不明な点や修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店または弊社各営業所にお問い合わせください。



未来工業株式会社

SM3079